

Minami Kyushu Junior College Syllabus						
科目名称	民法Ⅰ					英語コミュニケーション ( ) 留 学 ( ) ビジネス・キャリア (○)
英文科目名称	Civil LawⅠ					ホテル・観光 (○) オフィス情報 (○)
科目コード	531721	授業形態	講義	単位数	2	医療事務・医療秘書 (○) スポーツ健康 (○)
教員氏名	高山 康男		年次配当	2年次	前期	大学編入 (○) グローバル ( )
授業概要及び 授業方法	民法(広義の民法)とは、現行民法典(狭義の民法)と戸籍法などその他の民事法を合わせたものである。民法Ⅰでは、現行民法典(総則、物権、債権、親族、相続の五編)の総則編と物権編を中心に授業を行う。 授業は「例題のプリントを配布する(1回の授業で4～5題)。まず学生に考えさせ選択肢の答えを選ばせる。そして板書と資料を使って解説する」という方法で行う。					
関連する科目	憲法、法律学、民法Ⅱ、商法・会社法		学習成果との関係		① ③ ⑥	
授業計画	1. 民法総則(民法第1条～第21条、権利能力など) 2. 民法総則(民法第22条～第32条、同時死亡の推定など) 3. 民法総則(民法第33条～第37条、法人など) 4. 民法総則(民法第85条～第98条、物など) 5. 民法総則(民法第99条～第118条、代理など) 6. 民法総則(民法第119条～第126条、無効及び取消しなど) 7. 民法総則(民法第127条～第143条、条件及び期限など) 8. 民法総則(民法第144条～第161条、時効) 9. 民法総則(民法第162条～第174条、時効) 10. 民法物権(民法第175条～第207条、占有権など) 11. 民法物権(民法第209条～第238条、相隣関係) 12. 民法物権(民法第239条～第269条、共有など) 13. 民法物権(民法第270条～第294条、地役権など) 14. 民法物権(民法第295条～第341条、先取特権など) 15. 民法物権(民法第342条～第398条、抵当権など)					
授業時間外の学習	配布プリントの熟読、法律用語及び重要判例の学習など(学習に係る標準時間は週約2時間)。					
授業の到達目標	法学検定基礎コースに合格する(受験は任意)。 法学検定合格を目指し、自ら考え自分の言葉で表現できる能力を磨く。					
課題に対する フィードバック	小テストの採点結果の返却及び解説は翌週の授業で行う。		評価方法		定期試験(90点)、小テスト及び授業への積極的参加度(10点)	
テキスト	必要に応じて資料を配布する。					
参考書	使用しない。					
備考	特になし					